

令和5年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	共通基本技術 (コミュニケーション)	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次・時期	1 年前期 2023 年 4 月 17 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ①看護技術：2 時間 ②コミュニケーション：14 時間 ③感染看護：10 時間 ④事故防止：4 時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	コミュニケーションの基本を学び、看護実践の場におけるコミュニケーションの方法を学ぶ		
到達目標	1. コミュニケーション能力を身につけるために、自分自身の思いを言語や行動で表現することの意義を理解する 2. 患者と看護師間の意思の疎通と信頼関係を成立させるためのコミュニケーション技術がわかる 3. 演習をととして、自分自身のコミュニケーションに関する課題を認識する		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	本科目は 3 単元の合計点（100 点満点）が科目の成績となる （コミュニケーション：50 点／感染看護：40 点／事故防止：10 点） ※本科目の 3 単元の合計点が 60 点未満の場合は、3 単元全てが再試験となる		
使用教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 第 18 版第 2 刷 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	コミュニケーションの意義と目的 (p18～22) (1) コミュニケーションの意味・特徴 (2) 看護・医療におけるコミュニケーションの特徴・重要性		講義
第 2 回	コミュニケーション演習 (1) 挨拶 (2) 状況に応じたコミュニケーション (3) 感情に対応するコミュニケーション		演習
第 3 回	コミュニケーションの構成要素と成立過程 (p23～29) (1) 5 つの構成要素：刺激、送り手、メッセージ、伝達経路、受け手 (2) ミスコミュニケーション		講義
第 4 回	関係構築のためのコミュニケーションの基本 (p29～41) (1) 接近的コミュニケーションの原理 (2) 基本的態度：寄り添う態度、わかろうとする態度 ほか		講義/演習
第 5 回	効果的なコミュニケーションの実際 (1) (p42～48) 傾聴の技術：共感的理解、非言語的メッセージ、聴き方		講義/演習
第 6 回	効果的なコミュニケーションの実際 (2) (p48～56) 情報収集の技術：オープンクエスション、クローズドクエスション、説明技術 感情探索の技法 表出された感情に対応する技法		講義/演習
第 7 回	コミュニケーション障害がある人への対応 (p56～62) (失語症・構音障害のある人、認知症、意識障害のある人)		講義/講義
履修上の留意点	1. グループワークを指示された場合は、相手の考えを尊重しながら建設的な意見を出すよう努める。 2. 普段の生活から人に関心をもち、相手のことを知る・わかる、自分のことを知って・わかってもらおうとする気持ちをもつことを意識する		